

土方巽 夏の嵐 2003-1973 燐犧大踏鑑 (2003)

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー アート

製作国 日本

色彩 Color

時間 71分

初公開日 2004/03/27

公開情報 イメージフォーラム＝荒井事務所

【解説】

戦後日本におけるアヴァンギャルド・アートの潮流の中から登場してきた“舞踏”。その創始者である土方巽は、やがて“暗黒舞踏”と呼ばれる全く新たな肉体表現形式を確立、ジャンルを越えて、また日本のみならず世界のアートシーンにも多大な影響を与えた。本作は、そんな土方巽の映像としては最後の公演“夏の嵐 燐犧大踏鑑”を最新デジタル技術で甦らせた貴重なドキュメンタリー。

2003年5月、渋谷駅前の3つの巨大なスクリーンに奇妙な出で立ちと不思議な動きをみせる人間たちが映し出される。それは、日本独自の舞踏の創始者である土方巽が弟子たちと共に、1973年6月に京都大学構内の超満員の観衆の前で公演した舞台“夏の嵐 燐犧大踏鑑”だった。土方が生涯にただ一度、東京以外で踊った公演。全12景から成る極めてアヴァンギャルドな演目を次々に演じる土方たち。観る者を圧倒するそのパフォーマンスはまさに土方舞踏世界の集大成。そしてこの年を最後に、土方巽は自らの舞踏を封印したのだった。

【クレジット】

監督 荒井美三雄

企画 荒井美三雄

脚本 荒井美三雄

音楽 Y A S - K A Z

朗読 土方巽

出演 土方巽